

道づくりのワークショップとシンポジウム

【ワークショップ】 雑司ヶ谷の道の未来を考えよう(仮)

日程 2018年11月8日(木) / 11月27日(火) * 2回とも同じ内容で実施します。
 時間 18:30~20:30 参加しやすいほうにお越しください。

場所 雑司ヶ谷地域文化創造館 第4会議室

主催 雑司ヶ谷未来遺産推進協議会 / 共催 日本女子大学家政学部 葉袋研究室

* 上記日程以外にも、ご希望があれば実施します。お声かけください。

【シンポジウム】 風情ある雑司ヶ谷における観光と生活の接点を考える ~気持ちよく歩ける道づくりに向けて~(仮)

日程 2019年1月22日(火)

時間 18:30~20:30(予定)

場所 自由学園明日館講堂(豊島区西池袋2-31-3)

主催 雑司ヶ谷未来遺産推進協議会

「雑司ヶ谷」はどこ?

ゾウシガヤと呼ばれる場所の範囲、標記方法は時代により変わっています。当協議会は、これまでに範囲に入ったことのある場所なら広く対象地と考え、議論しています。

お問い合わせ

雑司ヶ谷未来遺産推進協議会事務局
 (公益財団法人としま未来文化財団 内)
 Tel: 3981-4732 / E-mail: t_mirai_machi_s@a.toshima.ne.jp

日本女子大学家政学部住居学科
 葉袋(みない)研究室
 Tel: 5981-3464 / E-mail: minai-lab@fc.jwu.ac.jp

連載 雑司ヶ谷の風景「尼坂(御嶽坂)」

尼坂とは、清立院と南池袋ハイツの間にある坂です。御嶽坂というほうがなじみがある方も多かもしれませんが。南池袋ハイツは江戸時代には大久保彦左衛門の下屋敷だったところ。墓地の樹木といっしょになって鬱蒼とした坂道でした。子どもたちに

としては肝試しの坂だったそうです。

絵は塀で囲まれていた時代のもの。今の南池袋ハイツに建替えられた平成5年より前の風景です。建替えに当たって塀は撤去され、敷地内には歩道が整備されて、かつての雰囲気はなくなりました。



尼坂(御嶽坂) パステル 450x525mm



現在の尼坂(御嶽坂)

今号から連載で、雑司ヶ谷に生まれ、雑司ヶ谷を愛し、たくさんの風景画を残して下さった小池俊夫さんの絵をご紹介します。

小池俊夫氏(1934-2004) 略歴

雑司ヶ谷生まれ
 豊島区立高田第五国民学校(現・目白小学校)
 高田中学校(現・千登世橋中学校)
 都立北園高等学校
 東京芸術大学・油絵科卒
 「東京を描く市民の会」常任理事

まちづくりニュース
2018・10
 通算84号

ぞうしがや

<http://zoshigaya.org>

●企画/発行
 雑司ヶ谷・南池袋
 まちづくりの会
 ●事務局・連絡先
 豊島区地域まちづくり課
 事業第1グループ
 03-3981-0489

高田小学校跡地

校舎等の解体完了・施設の建築へ

解体工事が終了しました

高田小学校跡地で行われてきた校舎の解体工事は順調に行われ、予定より1カ月早く終わることができました。解体工事では騒音や振動、粉塵などで近隣の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。また、コンクリートガラなどの搬入のため大型車が何台も通った沿道の皆様にもご迷惑をおかけしました。おかげさまで解体作業は事故もなく無事に終了することができました。



校舎の解体工事中(2018年4月)



整地工事中(2018年7月)

した。皆さまのご理解とご協力に改めて感謝いたします。

解体で出たコンクリートガラは、一部は場外に搬出しましたが、多くは細かく砕き公園工事に再利用します。少しでもガラの搬出量を減らし、近隣の皆様への影響を少なくするためです。現在、敷地は更地となり、再利用する砕石や土が置かれています。埃が飛ばないようにブルーシートで覆われています。

建築工事は1月から

解体工事を終えて、いよいよ施設の建築工事が行われます。建設会社も決まりました。工事の内容をご説明するため、下記の日程で工事説明会を行います。

建築工事は2019年12月末までの予定です。建築工事と並行して公園工事が行われます。これは来年の7月からを予定しています。公園の開園は2020年3月の予定です。

高田小学校跡地公園施設新築工事説明会

日時: 2018年11月5日(月)
 午後7時~8時30分
 会場: 雑司ヶ谷地域文化創造館
 地下1階第2練習室

お問い合わせ:
 豊島区都市整備部公園緑地課
 電話 03-3981-4940

不燃化特区助成はあと2年

雑司ヶ谷・南池袋地区では、木造密集市街地の安全性を向上させるために、木密地域不燃化10年プロジェクトが行われています。その中で市街地の不燃化の促進をするために行われているのが不燃化特区です。不燃化特区では地区内で燃えない建物に建替える方に助成金を出しています。

不燃化特区は10年間の事業で、その期限は2020年度までとなります。不燃化特区の助成を受けるためには、建物の工事が完成し登記まで行われなくてはなりません。したがって、2020年12月くらいには工事が完成している必要があります。時間があるようでももう残すところ2年と少々という時期になってきました。設計や工事には時間がかかります。助成金を利用して建替えを計画されている方は、お早めに区へご相談ください。

高田小学校跡地の公園施設

はじまる建築工事

高田小学校跡地では公園施設の建築工事がはじまります。この施設は救援センターとしての高田小学校にあった防災や集会の機能をできるだけ残してほしいとの、まちづくりの会や公園計画検討会からの要望を受けて整備されるものです。

地下1階(鉄筋コンクリート造)は防災機能

高田小学校跡地の公園施設は、敷地の北側、体育館があった場所に建設されます。この部分では敷地に高低差があります。それを利用して地下1階、地上1階の建物となります。

地下1階とは言っても、北側の道路からは1階にあたります。そこに鉄筋コンクリート造の基壇となる建物を作ります。その内部は区の備蓄倉庫と防災倉庫、災害時にも使えるトイレ、雨水を貯めてトイレなどに利用する貯留槽、防火水槽などの防災施設となります。

区で進めている防災活動路(優先整備路線)が整備されると弦巻通りと6mの道路で結ばれます。それによって地域の防災活動の拠点としての役割をさらに強くすることが計画されています。

地上1階(木造)は利用者向け施設

1階は木造の公園施設となります。木造ですが火災に強い準耐火構造の建物となります。木材の多くは豊島区の姉妹都市でもある秩父市の杉を使います。随所に木の香りが漂う建物となります。

建物は木造建物らしい切妻の落ち着いた外観となります。夜間は建物の外壁をライトアップして、まちの灯りとなります。公園に面する南側には大きな庇がかけられます。ここは地域の縁側として誰でも気軽に立ち寄り、休んだりよもやま話ができる場所となります。下の模型写真で庇にたくさんの開口があります。これは光が入る工夫です。これによって庇があっても室内は明るくなります。その他にも随所に太陽光

を利用するシステムが導入され、災害時に停電しても建物が使い続けることができるように工夫されています。

建物の外壁は明るい色にしたいとの公園計画検討会の意向でベージュ色に、屋根は落ち着いたグレーとなる予定です。

建物の計画内容については、次号のまちづくりニュースでお知らせします。

工事は1月から

建築工事は来年の1月から始まります。

工事が始まると、資材の運搬やコンクリート打設などで、大型の車両が敷地に入ります。解体工事ほどではないにしろ、地域の皆さまにはご迷惑をお掛けすることもあると思います。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。



北側の外観



南側の外観



まち点検と落書き消し

まちづくりの会では、公園検討会から生まれたNPO法人雑司が谷ひろばくらぶと合同で、3つのグループに分かれて、地域のまち点検と落書き消しを行いました。

- ・まちの雰囲気壊しているところ
- ・まちの景観を良くしているところ
- ・これからのまちづくりに生かせる場所などを見てまわりました。これを今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。

地区には落書きがそれほど多いわけではありませんが、目立つものについては事前に所有者のご了解をいただき、落書き消しを行いました。

ブロック塀に書かれたものは、塗料が染み込んでいるのでなかなか取れません。しかし、材質によってはきれいになくなり、所有者の方に感謝されました。

会ではこれからも定期的に点検と落書き消しを行います。気になるところがありましたら事務局にご連絡ください。



女子大と一緒に道について検討

日本女子大薬袋研究室では、長年にわたって雑司が谷のまちを研究しています。今年は、「住民の誰もが生活の場として安心して楽しく歩ける道であるために、どのような工夫があると良いでしょうか?観光客の方にも迷子にならずに雑司が谷の歴史と魅力を気持ちよく体験していただくために、どうしたら良いでしょうか?」という課題に取り組んでいます。

日本女子大では4頁にあるように、一般の方々にも声をかけてシンポジウムやワークショップを開催します。それに先駆けて、まちづくりの会で道の使い方についてのワークショップを行いました。

道は車や人の通行だけでなく、立ち話や子ども遊びなどいろいろな使われ方をしています。特に雑司が谷では昔ながらの道の使われ方が色濃く残っています。それらを次世代に引き継ぎ、雑司が谷らしい道づくりをしていくにはどうしたらよいか。地図を見ながらいろいろな意見がだされ、話がはずみました。